

سَلَامٌ



## ご挨拶

校長尼子東吉

卒業生の皆さん、平素は本校教育にご支援を頂き、お礼申し上げます。

平成二十年四月、三浦博校長の後任を拝命しました。大阪女子短期大学高等学校発展のため微力ながら全力を尽くします。応援よろしくお願ひします。

教育課程は、ほぼ十年毎に大幅に改訂されます。そんな中で本校は、人生における最重要時期である青年期に身につけるものとして、生きるための知恵、即ち「教養」を何よりも大切にすることを教育目標として掲げました。これを「新教養ルネサンス」と名付け、教育活動に専念していきます。

具体的には、①基礎学力（世に出て必要な知識や技能、資格の取得）②思いやりと柔軟な思考力（広い視野と適応力、そして創造性）、④楽しい生き方（プラス思考で生

活の充実をはかる）ことを目標に活動しています。  
日本は、これまで高度経済成長を続けてきました。が、ここにきて、そのひずみが顕著に現れるようになりました。今こそ私たちの目指す教育が、輝きを増すと確信しています。  
しかしながら現状は、私立高校、中でも女子校への向かい風は強く、生徒募集では大苦戦しています。今後一層のご支援をお願いします。  
八年前になりますが、キャンパス内諸施設の大改築と改装を行いました。皆さんが卒業されてから、教職員の世代交代も進みました。懐かしい先生方と膝を交えお話しすることが出来ないかもしれませんのが、元気で美しくなった学校にも足を運んでいただければ幸いです。

大阪の私立学校を取り巻く環境は大きく変化しています。少子化、中学生の学志向が続く中、アメリカのサブプライムローンやリーマンショックに端を発した全世界規模の経済不況。大阪では橋下知事による私学助成金のカットが報じられ、多くの私立学校で授業料を値上げせざるを得ない状況に至りました。

一方、大阪府の多くの私立高校はいくつかの大きな流れの中あります。その一つは、受験至上主義です。大学進学実績のみを追い求めるが故に、成績が下がるとクラブ活動への参加も認めない、高校3年生では、受験に関係のない情報や家庭科の授業を行わない、さらに私立文系型を選択すると数学や理科といった科目まで時間割から消えてしまいます。この行き過ぎた結果が、数年前に社会問題となつた必修科目の未履修や成績優秀な生徒の大学受験料を学校で肩代わりして進学実績を伸ばすという手法となつたと考えられます。また、昨今の大学による高校の系列化もこの流れの中にあるのかもしれません。有名私立大学との提携も必ずしも成功しているわけではありません。

もうひとつ流れは、コース制です。まるで専門学校であるかのように、福祉幼稚教育、吹奏楽、果ては美容や理容、パティシエといったコースが設けられています。中学3年生というまだまだ発達途上である段階で、自らの将来を決めてしまえる人がどれだけいるのでしょうか。実際、入学後に自分の将来の夢が違つたことに気付き挫折してしまう人も多くい

きつと将来大きな財産になると考えています。

もちろん学力向上の面でも、理科や数学での習熟度別授業による基礎徹底理解進学に向けての少人数選択授業による実践力向上などを実施している結果、ほぼ全員が希望進路を達成し進学しています。

また大阪商業大学を母体とする学校法人谷岡学園グループという大きな組織の中で、系列大学へ進学する際には、学力試験を免除したり、入学金を免除したりといった支援、本校へ入学する際にも同窓生子女は入学金を半額免除するなど、様々な特典が設けられています。

こういった取り組みは本校ホームページに詳しく載っていますので、是非一度ご覧下さい。

本校同窓生・ふじなみ会会員のみなさまには、こういった本校の取り組みを温かく見守っていただき、これからも一層のご支援をお願いいたします。

本校では、祖母・母・姉が卒業または在学といった、同窓生の子女の入学に際して入学金半額を免除しております。

詳しくは、高校入試対策係

TEL. 072(955)0718

まで、お問い合わせ下さい

# ご挨拶

第三十三期(昭和四十六年卒業)

# 谷岡学園創立 80 年 記念式典に参加して



女子高として新しいスタンダードを目指して  
→大阪女子短期大学高等学校のい

大阪女子短期大学高等学校のいま

が喜びであり、働くことが誇り  
学園となつていけるよう、教職  
にはこれからもご協力頂きたい  
。」と述べられました。

ようにも、本学園においては、試験の成績や偏差値だけにとらわれない教育活動を行つていきたいと思つております。学力試験の結果は悪くても笑いの数では大阪が日本で一番であり、

## 同窓会生子女減免制度

本校では、祖母・母・姉が卒業または在学といった、同窓生の子女の入学に際して入学金半額を免除しております。

詳しくは、高校入試対策係  
TEL 072(955)021

まで、お問い合わせ下さい

# ふじなみ会総会の案内



©宝塚歌劇団



## ふじなみ会会員の皆様へ

平素は同窓会活動にご支援を頂き厚くお礼申し上げます。さて、今年は恒例の同窓会総会を下記の通り開催いたします。今回は、楽しいひとときを過ごして頂きたく宝塚大劇場での歌劇の観賞を行います。何かとご多用とは存じますが、何卒ご参加頂きたくご案内を申し上げます。

また、観賞終了後は、ささやかなティータイムも予定しております。その折に総会を行いたく思いますので、こちらへも奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

### 1. 日時

平成21年5月17日（日曜日）  
午前9時00分から午後5時00分頃

### 2. 集合場所

午前9時00分（天王寺公園南角周辺）  
時間厳守  
※天王寺発着による宝塚までの送迎バスあり。

### 3. 行程

- 1部：歌劇の観賞会  
11時00（開演）～14時00（終了）  
△12時30分から（30分休憩）この間に、昼食（お弁当・パック茶付）
- 2部：総会（劇場内エスプリホールにて）  
14時00～15時00頃（終了予定）

### 4. 参加者

定員80名（ご家族同伴可）

5. 会費（観賞、昼食、送迎バス代を含む）  
会員=8,000円（ご家族様も同額）  
新会員=6,000円  
△会費は、振込みでお願いします。

### 6. 申込締切

- 4月20日（月曜日）必着でお願いします。  
 ●準備の都合上、出欠の返事は、同封の振込用紙による入金（参加費）の有無にて、確認させて頂きます。  
 ●入金が確認出来次第、詳細を連絡させて頂きます。  
 ●総会に関するお問い合わせは、072-955-0733（内線7117）事務局上田までご連絡下さい。

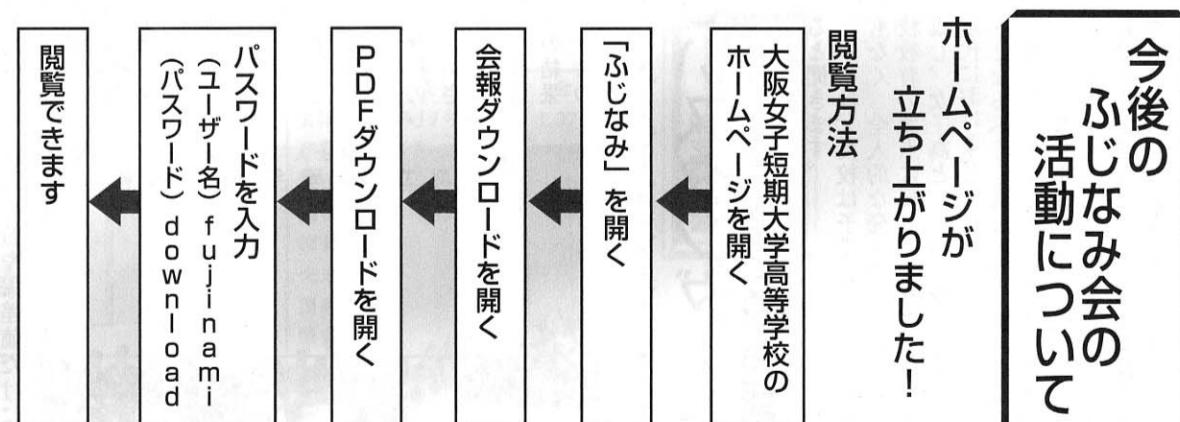
会報の発行が3年に一度になります。  
生徒数減少で同窓会の会費収入も減少し、会報の印刷通信費が財政的にまかなくしく難しくなっています。  
毎年の発行は断念しなければならなくなりました。  
今後は、HPでの情報提供に力を入れていきます。母校のHPも閲覧して頂くよい機会となれば有り難いです。

今回の平成二十一年総会前の発行の後は平成二十四年の総会前の発行となりました。それまでの活動記録につきましては、「ふじなみ会」HPでご覧下さい。

会報の発行が3年に一度になります。  
生徒数減少で同窓会の会費収入も減少し、会報の印刷通信費が財政的にまかなくしく難しくなっています。  
毎年の発行は断念しなければならなくなりました。  
今後は、HPでの情報提供に力を入れていきます。母校のHPも閲覧して頂くよい機会となれば有り難いです。

绿涼祭に参加させて頂いて二回目となり、先生方のご協力のもと、前回と同様、ドライフラワー・ハーブティーそして、今回は手作りコサージュを販売させて頂き、御蔭様で、コサージュは完売となりました。ただ今回は、少し天候に恵まれず予定時間より早く終る事となり残念に思いました。来年も楽しい催しに参加させていただきたいと思っています。

## 会報の発行について



内容は、総会の案内・会則・役員会報告・会報のバックナンバーなどです。

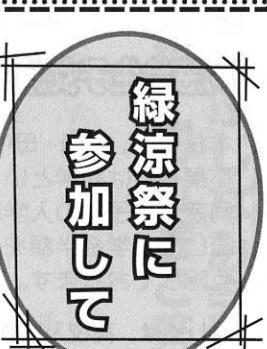
会報の発送について

現在、メール便にて会報をお届けしています。しかし、返送されてくる数が非常に多くなっています。転居等の場合、ご連絡ください。

また、HPをご覧になれる環境の方は、HPをご利用頂きたくお願いいたします。その際、会報発送が不要になりますので、その由を同封のはがきでお知らせください。経費節約のためにご協力をお願い致します。



第23期（昭和46年卒業）江澤一子



# すてきな 仲間 先生編



短大高校定年退職者がシエラトン都ホテルの一室で春と秋に集い、互いの近況報告をしながら話に花を咲かせる楽しい一時。現役時代の思い出話を——藤井寺球場での体育祭、コーラス大会、弁論大会、文化祭等の学校行事や、一クラス五十数名もいて、学校中が沸き立っていた時代、生徒数減で一人一人を大切にし、濃密な関係をもてた時代等生徒との思い出話は時空を越えて私達を現役時代の顔に引き戻してくれる。短大高校で出会った生徒たちや仲間としての先生方に心から感謝し、「楽しかったね」と若かりし頃を懐かしむ。

退職後はコーラスや陶芸、絵画等の習い事や自然環境を守る等ボランティア活動に、水泳や体操で体力維持を図るなど様々な生き甲斐をみつけているが、人生の一時期を共有した短大高校の思い出は不滅である。“来春またね。元気でいましょう”と再会を約束して散会したが、いつまでも続けたい仲間との交流である。

元教諭

元教説

# 文芸部の OG 全員集合

学校を卒業して年月が経ちますが、緑多い学舎でのびやかに学んだ頃の気持ちそのままに、クラブ活動を通じて顧問の先生方と仲間の温かい交流が今も続いている方が多いのではないかと思います。

『文芸部』その小さな輪の中にかつての部員坪内利子さん（旧姓柳原）が若き日の病により聴覚の全てを失う大試練を

部活を通じて得られた御縁は多くの方が体験されていると思いますがあの汚かつた暗い小さな部室から始

同  
密  
生

頑張つている

少年 成年 多国からの女  
る試合に一日中ゴングが鳴  
り響きます。勝ち上があれば  
試合が毎日続く為、体の疲  
労と集中力、メンタル面の  
コントロールが難しくなり  
想像を絶する状態になつて  
いきます。

そんな過酷な中の戦い  
が私を熱くさせるのだと思  
います。勝利を自分の思う

今年で三度目となるアメリカでの世界大会挑戦に温かい応援を頂きましてありがとうございました。試合の結果は準決勝でカナダ代表選手との戦いに惜しくも敗れてしまいました。

この大会は1000人を超える参加選手が集まり、トーナメント形式で4日間に亘って行われる大規模な大会です。会場には7台のリングが設置され

様に得ることが出来ない今、もどかしく感じる事もありますが、今回の試合の結果は自分の目標を達成するまでの過程の一つで、次へ結びつける為のものだと考えております。また今回のアメリカ滞在中には滞在先の地元で行われた大会にも出場し、勝利を修める事ができた事も今後繋げていきたいと思います。たくさんの方から応援して頂いている事に感謝しきれからも努力していきます。

## 好川菜々 第49期（平成9年卒業）



(株)JALエクスプレスに入社して二年半、私は客室乗務員として伊丹空港を拠点に日本全国を飛び回り、毎日充実した日々を送っています。

静原未央  
6期（平成16年卒業）

A black and white photograph of a woman with dark hair, wearing a dark top and a light-colored scarf, sitting on a stone ledge in the foreground. She is smiling at the camera. Behind her stands the Eiffel Tower, its intricate lattice structure silhouetted against a cloudy sky. In the far background, the city of Paris is visible with various buildings and landmarks. The overall atmosphere is a classic travel photograph.

# 宮崎弘美

まつた私達文芸部の活動が今、こうした形での思いがけない巡り合いを生み、この小さな輪がさらに大きくなり広がつて同じ部活をしたご縁を手繩り寄せてくれる一本の糸になつて欲しいものと思つています。

短大高校の部活で出会つた仲間達――

機関誌「道」を囲みながら青春時代に浸つてみませんか

文芸部に在籍なさつた一人でも多くの方の連絡をお待ちしていおります

※連絡先  
藤井寺市春日丘3-8-1  
大阪女子短期大学高等学校  
ふじなみ会事務局

第十七期（昭和四十年度卒業）

